

議会だより



▲一斉放水(5月16日 消防演習)

6月定例会・請願・陳情	2~3P
一般質問	4~10P
付託案件審査報告	11~12P
所管事務調査報告	13P
幼児園建設調査特別委員会報告	14P
一部事務組合報告	15P
議員活動あれこれ／編集後記	16P

佐藤町長
4期目スタート



定例会の経過

6月定例会は6月23日から7月2日までの10日間開催されました。

本会議(初日)

6月23日

- 会期の決定
- 諸般の報告
- 町長の所信表明
- 22議案上程
- 人事案件

◆ 監査委員の選任について
起立採決の結果、全議員
同意。

監査委員

窪田 白氏

各常任委員会

付託案件審査

6月24日

総務産経常任委員会

6月25日

社会文教常任委員会

委員会の詳細は

11・12ページ

本会議

7月1日

- 5名による一般質問

7月2日(最終日)

- 2名による一般質問
- 各常任委員長の付託案件審査報告が行なわれ、各議案が採決されました。
- 請願、意見書の提出について採決
- 幼児園建設調査特別委員会報告
- 各常任委員長、議会運営委員会委員長からの閉会中の継続審査の申し出を議決しました。

一般質問の詳細は

4～10ページ

町長の所信表明の内容

○23年度に
第5次総合計画策定
平成13年度に策定された第4次田上町総合計画の最後の年度となるため、今年度は平成23年度からの第5次田上町総合計画を策定する。

○403号線バイパス整備促進
「命の大動脈」としての403号線バイパスの整備促進、早期完成は救急患者の搬送など緊急性が求められている。

また、人口減少対策として、新潟市へのアクセスが向上すると、通勤圏の拡大に伴い人口増にも寄与する。

○五明寺トンネル全面改修

○大沢水系水道水

硬度改良事業
二項目については、懸案事項であり、今年度から調査設計に着手する。

○教育の充実
「田上の子供は田上で育てる」をキーワードに学力の向上とスポーツを通しての体力向上、そしてスポーツ技術力の向上に努める。

○総合型スポーツクラブの設立と推進
子供から高齢者までの多くの町民の方々からスポーツに親しむことで健康増進を図り、医療費の抑制に努力する。

○産業の活性化
本田上工業団地への企業誘致に努力する。そのために、産業活性化プロジェクトで企業誘致のための調査と推進を改めて検討する。

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第2号	農業農村整備事業に関する請願書	田上町大字原ヶ崎新田3073番地 田上郷土地改良区 理事長 牛田 勝	採択	議長 長 副議長 大 議員 院 議員 院 参事 閣 内閣 総 総務 務 財務 務 農林 水 水産 産

陳情

番号	件名	陳情者
陳情第1号	現在居住地の問題解決を求める陳情書	陳情代表者 田上町大字吉田新田甲169-1 大堀 清教 他3名



小野澤 健吉 議員

気になる言葉「巻き込む」の訂正を求めたが町長は拒否する

問 去る3月定例町議会の一般質問で、「町政界」の論客のW氏が町の人口対策に対して質問をされた、人口がどんどん減っていくので町長に対して、「危機感を持って町民を巻き込んだ政策の立案が必要ではないか」と質しました。それに町長は「私が町づくりと言っているのは正に言われるように地域住民を巻き込むということ、町政に関心を持ってもらう」云々と随分苦労された回答文だと思っております。

「地域住民を巻き込む」という言葉の関係であり、このことはあえて言うならば地域住民を軽視した発言で訂正を求めらるるものです。日本語は非常に難しい要素を持っていきます。また解釈上いろんな問題を含んでおる関係もありますが「町民を巻き込んで」という言葉がどうしても気にかかります。竜巻・交通渋滞などの犯罪的な行為に巻き込まれておりますが、巻き込む方は優越感を覚えますが、巻き込まれた方はどう考えるのでしょうか。

国語辞書より

【巻き込む】

- 巻き込む。巻くようにして中に引き込む。
- (本人が希望しないのに) 仲間を引き入れる。
- 強引にかかわりを持たせる。「事件に巻き込まれる」



▲町民の意見を町づくりに反映するには

町長 先日の所信表明でも申し上げました様に、町づくりは執行、私が責任を持って提案いたします。多くの住民の意見を聞き、町づくりに反映させて行くことのほうがベターだと私は考えていますので、決して軽視したものではありません。

問 「巻き込む」と言う事、決して私は言葉の遊びをしているのではありません。私は出来る事なら、そういう言葉は使いたくありません。私に言わせれば「町民に政策の理解をいただきながら、その政策に参加してほしい」と申し上げます。けれども、町長は住民を巻き込んだ政策がいいのだと言われました。「巻き込む」ことの良し悪しの判断は別にして、私は住民に対する軽視ではないか、あえて言うならば不謹慎だと言わざるを得ません。その事の訂正を求めたわけですが、そうではないと言いつ張るのであれば、それはそれなりに結構であります。

一般質問



関根 一義 議員

町長の政治理念は!

問 町民は、町長が所信表明で何を語るのか注目し、議会議論にも大きな関心を示していた。しかし、町政にあたる政治理念には触れられず、新たなスタートにあつての決意と情熱が伝わってこなかった。

「4期目を総仕上げとする」ならば如何なる政治理念のもとに町政運営を行われるのか明らかにすべきである。

町長 町の行政に対する考え方、すなわち理念は、町の財政をまず安定させ、住民サービスを充実させていくことである。そのために現状を的確に判断し、町民のための施策を提案し賛同を得、町政に参加していただくということが町政を運営する考え方の基本である。

町の未来ビジョン及び町政運営の基本方針は!

問 町長は、町長選を通じてあらためて自立のまちづくりを宣言された。政令市新潟と特例市を目指す三条市の狭間に埋没することなく生き抜いていかねばならない。

町の人口動向、財政規模、産業構造をふまえて「如何なる未来像」をもって町を自立させるのか、そのビジョンが描かれなければならぬ。

また町政運営の原点は行政サービスにある。自立の町として行政サービスを維持していくためには広域行政システムが大

きな課題となる。広域行政の在り方を含めた町政運営の基本方針が示されなければならない。

町長 自立した町を持続していくためには、税収確保の施策の推進が必要であり、基本的には産業の活性化と人口増を図ることである。そのためにも若者の雇用場の確保すること、また子育て支援の一層の充実を図ることが必要であり推進していく。町民に自立の町づくりへの参画を働きかけていく。

国保も県単位の連合組合が検討されており、広域行政に参加することで体制づくりに二層努めていく。

県央医療体制の整備は急務!

問 具体的政策課題として県央地域の医療体制に関して町長の基本姿勢を質す。

県央地域の医療体制の整備をどう進めるかは町の大きな課題である。「あり方会議」に向けての町長の基本方針を示すべきだ。

町長 医療体制整備のための検討会議は事務担当者会議と各市町村長、医師会及び県福祉保健部の合同会議、さらには知事と市町村長会議がある。現段階では県の考え方に對する各市町村長及び医師会の考えを述べている。

いずれ基本的方向を定め町の考え方を決めてまいりたい。



川口 與志郎 議員

政権が交代したことによる変更ですが、私はこの変更は評価できることだと思います。四月二十五日の新聞は「地域同士、学校同士の競争意識が強まった。〇七年度から始まった文部科学省の学力調査について、こう指



池井 豊 議員

スポーツのまちづくりについて

町長はスポーツのまちづくりを強く表明しています。体力・技術の向上をさせる施策としてどのようなものが考えられますか。

町長はスポーツのまちづくりを強く表明しています。体力・技術の向上をさせる施策としてどのようなものが考えられますか。

町長 町内外から適切な指導者をお願いしていくことも今後学校と検討していきたいと考えています。

また、社会体育においては、総合型スポーツクラブの活動を通して専門的に指導してまいります。新潟経営大学との連携も模索してまいります。

全国学力調査について

今年四月二十日「全国学力調査」が実施されました。今回の調査は、昨年までと違い、小学校六年と中学校三年の全員が受ける方式から、選ばれた学校だけになりました。

田上の各学校は選ばれませんでしたでしたが、約三割という抽出率は学力水準が誤差なくつかめるといふ配慮がされています。

政権が交代したことによる変更ですが、私はこの変更は評価できることだと思います。四月二十五日の新聞は「地域同士、学校同士の競争意識が強まった。〇七年度から始まった文部科学省の学力調査について、こう指

そのために施設の整備というところにつながっていくわけですが、私の今の考えではすべて屋根のついた体育施設だけではなくて、有効に外の施設も使いつながりながら環境の整備に努めていきます。



▲新潟経営大学で行なわれたサッカー教室

工業団地への企業誘致について

「産業の活性化について」として工業団地への企業誘致が上

摘する教育関係者は多い」と報道しています。

学力調査のねらいは、学習の成果を客観的に測り、学力の向上や、授業の改善につなげることにあります。そこに学力調査が生かされるのであれば問題はありませぬ。競争意識が一人歩きをして、結果だけに注目が集まるようなことがあれば問題です。

教育長 川口議員は管理強化の一点に絞って言われていますが、教育委員会としては先生方に圧力をかけたり、煽るようなことはしておりません。

学力の向上や授業改善に結びつくような方向で生かされております。

生涯学習センターについて

建設予定地は国道403バイパスからわかりやすい場所にあ

町長 これまでではできるだけ規模の大きな企業の誘致を考えて折衝してきた経過がありますが、これらの提案に合ったような様々な施設が可能かどうかも含めて、産業活性化プロジェクトチームでも検討してまいりたいと思っております。

げられています。国道403バイパスとつながった今、どんな企業へのアプローチをして行くのでしょうか。教育・農業・医療などあらゆる企業へのアプローチが必要だと思います。

「国道403」の歩道改修について

「国道403」の歩道は全く不備で危険です。それは皆さんご承知の通りで町民の多くの方が改善を希望しておられます。担当課に伺いましたが、根本的解決は非常に難しい状況です。しかしこの状況をそのまま放置してよいともいえません。

一部歩道があるところが細くて、また波うっています。その部分の改修は可能ではないでしょうか。

降雪時、除雪車が出動した時に通行人が通れるように歩道や人の歩くところの除雪をしてください。小型の除雪車も必要になると思われれます。

ります。そこで、まちの駅併設にはいかがでしょうか。観光案内などのインフォメーション機能も持たせ、コミュニケーションとして農産物の直売ができるエリアも併設した多機能な生涯学習センターにはいかがでしょうか。

特産品の開発や販売は活きた生涯学習につながります。

教育長 本年度中にタイムテーブルを策定しなければならぬと考えております。21世紀の生涯学習のあり方を考え、田上町として何を指すのか。まず、公民館運営審議会や地区生涯学習推進員のご意見をいただきながら、多くの町民から活用いただける施設としてのグランドデザインを構想していきたいと考えております。

町長 ご指摘のように加茂市境界より羽生田に向かつての歩道が整備されている所のでこぼこ、マウンドアップと言っておりますが、毎年、一部分であります。工事が行われております。全ての区間で段差の解消をすることはなかなか難しい問題があります。

また降雪時の歩道除雪の件につきましても、車道の除雪が優先されますので、昼間の除雪が基本となっております。これにつきましても引き続き県に要望してまいります。



▲国道403号の歩道



渡邊 正策 議員

町長 何をやるにも、どんな施策を取るにも、財政力が基本になると考えます。財政力の豊かな所は、それなりに対策が講じられますが、お金のないところはアイデアも出ないというのが、現状ではないだろうかと思っています。田上町は財政をきちっとしていくという方針が、最も大切な事と思っております。組織を再

町長 何らかの具体的な活動を通して、或は作業を通して若者が出会いの場を利用して結婚につながる場というのは、大変いい提案です。また近隣市町村で

町長 何らかの具体的な活動を通して、或は作業を通して若者が出会いの場を利用して結婚につながる場というのは、大変いい提案です。また近隣市町村で



▲昨年の本田上地区敬老会

一般 質 問



齋藤 勲 議員

非核平和自治体宣言を田上町も

問 08年時点では全国で約8割(1千457)が非核平和自治体宣言を行っています。当町では昨年の6月議会で「核兵器廃絶平和に関する決議」を可決しています。当町でも宣言をし、可能な範囲で住民へ啓蒙活動できませんか。

町長 ご提案のとおり宣言をするようにします。また現在学校関係者と、どのような啓蒙活動ができるか相談中です。



▲新潟市の「非核平和都市宣言」

武道の必修は保護者への説明と安全対策を十分に

問 来年度から中学校の武道が必修化されますが、武具や保護具は交付税で参入されますか。

教育長 柔道着を80着備えており貸与します。また定期的にクリーニングをします。

問 武道を教える教員や指導員の確保は万全ですか。

教育長 先生方は基本的に全ての運動領域を指導できることになっており、特に支障があると思いません。

問 27年間で「硬膜下血腫」などで110名の子供が亡くなっている

ます。後遺症に苦しんでいる子供も多数おり、安全を優先すべきです。

教育長 危険回避に最大限の注意を払います。

文化的施設は道(町)の駅と一体化し、町づくり・人づくりを

問 町は「総合スポーツ型クラブの設立計画」など運動面では力を入れています。文化的施設建設案を契機に文化面でも力を入れる必要があると思います。また町民の様々な分野から意見を聞いてプランを作成すべきではありませんか。

また「生涯学習音楽指導員」の配置などで、ホールが活発に活用できるように今から下地を作ることが大切だと思います。

教育長 21世紀の生涯学習のあり方がどうあるべきなのかを、先ず公民館運営審議員と地区生涯学習推進員の方々と相談します。そして多くの町民からご利用頂けるようなグラウンドデザインを作ろうと思っています。



▲2ヵ月に1回開かれる役場ロビーコンサート

問 R403バイパスができると、町が通過点になる危険性があります。道(町)の駅と一体化して、町づくり、人づくりに結びつくように考えられませんか。

教育長 本末転倒を避ける意味から基本構想をキチッととし、軒を貸して母屋を取られないように慎重に検討をします。

人口減少対策は庁内の組織再編で実施を

問 活力ある田上町と、生き残るための人口減少対策を、庁内の中堅クラスを中心に組織再編を図り、マンネリ化から脱却した意識改革と人材育成が必要と考えますが如何でしょうか。

編して一挙にマンネリ化を脱却できるとは思われません。当面現体制で良いアイデアで、やれる施策が出せるよう努力して参りたいと考えております。

若者を引き寄せる出会いの場づくりを

問 既存のプロジェクト・あじさい祭りなどのイベントを利用し、言うなれば出会いの場づくり的な手助けを、農商工・地域の参画を頂き計画してみる事も大切ではないでしょうか、伺います。

若者の為に住居設置をしている事も聞いています。田上町として可能かどうかも含め、産業活性化プロジェクトの中で検討し、いい案が出来るように努力して参りたいと思っております。

老年人口世代の地域活動に支援強化を

問 現在町の65歳以上の人口は約3千400人、今後毎年約200人強が老年人口世代に加わります。旧保育所など小規模公

町長 これまでも老人クラブ連合会には、要望に対してほぼ全額の補助をしてきております。ただ、各地区の老人クラブの人達が集える施設は、十分であるとは考えておりません。

各地区で皆さんが集うような施設が必要である、という声も聞いております。これから高齢化社会が進んでいきますので、まさに重要な課題だと認識しております。また、高齢者が増える中で、老人会の加入者の減少が続いているという現象もありますが、十分に活動が出来る体制づくりにも支援していきたいと思っております。



中野 和美 議員

一般質問

専決処分について

問 先日、専決処分された「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」に余剰交付があることは、事前にわかっていました。金額は約1千万円と大きなものとなり、考えていた以上の交付となりました。急遽判断しなければいけなかったとはいえ、全協でも取り上げましたが、議会に諮って欲しかったと考えますが、いかがでしょうか。

町長 国から示されることもあって、協議する時間を作りたくても作れないということも現実にあります。

専決処分条項はありますが、今後はできるだけ専決処分を避けるようには努力したいと思います。

本田上工業団地の具体的行動計画について

問 本田上工業団地の企業誘致の為に、所信表明にある「調査と推進」とは具体的にどのような行動計画でしょうか。

町長 価格の検討や販売から借地への方向でも検討したいと思います。企業の調査はかなりの時間がかかりますが、町内、町外の誘致できる企業を対象として抜本的に調査をしたいと思っております。また、企業誘致のためのスタッフも検討します。

問 庁舎内のメンバーだけで検討していく様ですが、それでは今までと変わりません。もう悠長に構えてはられないのです。

民間のやり方、考え方を導入しようという考えはないのでしょうか。

町長 産業振興課の課長を中心に、研究しながら進めているところで、今すぐ民間を入れるというふうには考えていません。



▲本田上工業団地の区画図

町外図書館利用について

問 当町には図書館がありません。県央地区は別として、隣

接する新潟市の図書館を利用したくとも、住所が無い・新潟市に通学・通勤していないとなりません。本を借りる事が出来ません。実際に新潟図書館では何件か田上住民への貸出しを断っているということです。

田上町住民の向学心を支援する為にも、田上町図書館ができるまでのつなぎの施策をどう考えていますか。

教育長 図書館をもっていないと相互利用ができません。臨時ですが、3校に司書を配置しました。図書の電子データ化を含め、どれだけそれぞれの学校に蔵書があるのか、ゆくゆくは学校開放のような形で、町の分館的な扱いの利用ができないものか検討しています。

常任委員会付託案件審査

総務産経

《専決処分》

◆議第4号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第12号)の報告について中

第1表 歳入

第1表 歳出の内

5款 労働費

7款 商工費

11款 公債費

第2表 繰越明許費補正

第3表 地方債の補正

説明 歳入の町税、国税交付

金、県支出金は確定による。5款、7款、11款は事業確定及び実績による整理。

※承認

《条例の一部改正》

◆議第9号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

◆議第10号 田上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

説明 非常勤職員、臨時的に任用される職員も育児休業等が適用になる変更と配偶者の就業状態等による条件がなくなった。

◆議第11号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正について

説明 職員給与から控除できるものを条例で明記するもの。

◆議第12号 田上町消防団の設置等に関する条例の一部改正について

説明 消防組織法の改正による条項の明記。

※いずれも原案可決

《補正予算》

◆議第14号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第1号)議定について中

第1表 歳入

第1表 歳出の内

1款 議会費

2款 総務費(1、5項)

5款 労働費

6款 農林水産業費

7款 商工費

8款 土木費

第2表 地方債の補正

説明 国の社会資本整備総合交付金が減額になった為に道路整備事業債を補正するものと人事異動による係数補正

◆議第15号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について

※原案可決

◆議第16号 同年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)議定について

◆議第20号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第1号)議定について

説明 社会資本整備総合交付金の減額補正と維持管理費を補正するものと3議案とも人事異動に関するもの。

◆議第15号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について

※いずれも原案可決

委員長 泉田 壽一



▲総務産経常任委員会

社会 文教

《専決処分》

◆議第2号 田上町税条例の一部改正

この案件は国の地方税法が3月に部改正されたもの。

1 扶養控除の見直し(H24年度より)

① 16歳未満の扶養控除33万円を撤廃する。

② 16歳～19歳未満の12万円の上乗せ分を撤廃する。

2 生命保険の控除の改正(H25年度より)

新たに介護保険料の控除を新設。但し現行の適用限度額7万円は維持。

3 市町村たばこ税の改正(本年10月1日より)

千本につき↓国、地方合わせて旧3級品以外7千924円↓1万1千424円。旧3級品3千761円↓5千423円になるというもの。

承認

◆議第3号 田上町国民健康保険条例の一部改正

1 基礎課税額にかかる課税限度額47万円↓50万円に。

2 被保険者が非自発的に離職した場合、前年の給与所得を30/100に計算する。

承認

◆議第4号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第12号)の報告について中

第1表 歳出の内

3款 民生費

4款 衛生費

◆議第5号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

◆議第6号 同年度田上町老人保険特別会計補正予算(第2号)

◆議第7号 同年度田上町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆議第8号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算

問看護事業特別会計補正予算

算(第2号)

議第4号、5号、6号、7号、8号はいずれも金額の確定によるもの。

いずれも承認

《条例の一部改正》

◆議第13号 田上町乳児、子どもの医療費助成に関する条例の一部改正

県の少子化対策の一環に基づいて、通院の補助を小学校3年生から小学校6年生まで拡大するもの。

原案可決

《補正予算》

◆議第14号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第1号)議定について中

第1表 歳出の内

2款 総務費(2、3項)

3款 民生費

4款 衛生費

10款 教育費

いずれも人事異動によるものが中心。その中で、3款民生費で心起園の120万8千円はガセパ

レーター管理委託費。10款教育費でコミュニティセンター協会のニスコートを日本宝くじ協会の補助を受けて改修するもの。

◆議第17号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

新しい事業として、ジェネリック薬品を使用してもらうために啓蒙のチラシ作成費など合わせて2万6千円を計上。

◆議第18号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)

職員が共済費が上ったため。

◆議第19号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護給付費負担金の返還金を計上。

いずれも原案可決

委員長 齋藤 勲

常任委員会のうごき (所管事務調査)

社会文教

期日 平成22年6月11日

今回は学校関係の施設設備を中心に調査しました。

田上中学校施設の

整備状況の調査

①グラウンド整備状況。約2千400万円の費用で整備の実施をした結果、非常に良くなりました。

②以前あった格技場を解体し、新たにグラウンド脇に3間×6間のプレハブハウスを作り、広さは十分とのことです。

③格技場跡の駐車場は砂利敷きで、20台駐車可能。

④武道場の建設状況は、7月中旬で40%の建設状況とな

り、10月末には引き渡しを終えたいとの説明でした。



▲建設中の武道場

⑤プール付属室のアスベスト除去状況を調査。費用は見込みより半分くらいで済みそうとのことでした。

羽生田小学校・田上小学 校の授業について

①電子黒板による英語の授業状況

羽生田小学校の英語授業のALTはスリランカ出身のジューデイさん、田上小学校はカナダ出身のジョンさん。

教育長の説明では、英語授業ではなく「教科」の扱いのため、テキストは個人持ちではないとのことでした。そして英語に慣れることが第一という説明でした。

②コンピューターを使用した授業の調査

コンピューターを使用した授業は、両校とも総合学習の一環として田上町のことについて検索をしていました。後日現場に出向いて内容を確認・深めるとのことでした。

但し光ファイバーでないため情報の入手に時間がかかる場面にも遭遇しました。

また一人1台の学校があるとのことので今後の課題です。

結論として、両校とも現在ある設備で最大限に活用していることが確認できました。

委員長 齋藤 勲



▲電子黒板を使用した授業(羽生田小)



▲コンピューターを使用した授業(田上小)

三 幼稚園建設調査特別委員会 報告 三

平成19年7月の臨時会で設置された特別委員会は、19年8月2日の第1回から22年5月2日の最終の委員会まで、視察研修を含めて合計25回開会されました。

主なる経過は、19年9月4日の委員会で公設・公営で町全体で一ヶ所の建設の意見集約が成され、10月9日には竹の友幼稚園の増改築計画から原ヶ崎野球場での全館新築提案があり、了承に至りました。

20年6月10日に6社の競技設計案が提示され、約1カ月間委員各自の自宅調査を経て、7月7日に基設計事務所もとくの基本設計案が採用され、その後基設計担当者から、提案書、計画書の説明を受け、21年4月3日実施設計図が示されました。その間委員会では、精力的に調査研究を進めました。また、12月3日には定員を超える2歳児の入園申込の為、2歳児保育室の増設と3歳児以上の遊戯室の床

暖房を含めた変更を認めました。視察研修については、幼保一体型200人規模の基本構想ができた時点で、同様の施設、新発田市西園保育園、基設計もとくが設計管理をした下田地区の千代ヶ丘保育園と燕市の西燕保育園の視察を実施しました。

約3年に渡り、25回の委員会を通して各委員から真摯な議論を展開して頂き、その結果、素晴らしい竹の友幼稚園が完成したと思っております。

今後、『竹の友幼稚園が『田上の子供は田上で育てる』という田上町12カ年教育の礎となり、近隣市町村の模範施設となるよう益々の発展を期待して特別委員会の報告といたします。

委員長 児玉 輝男



一部事務組合議会報告

加茂市・田上町消防衛生組合

《3月定例会》

期日 平成22年3月30日

場所 加茂市役所

○第1号議案 専決処分

新潟県市町村事務組合規約
の一部改正について

これは、本年3月31日長岡市と川口町の合併に伴い、同町及び小千谷地域広域事務組合が組合から脱退するなどによる組合規約の変更についてであります。

※承認

○第2号議案 平成22年度一般会計予算案について

平成22年度当初予算の総額は9億5千753万9千円で、前年度比6千568万4千円の増であります。

歳入における分担金及び負担金9億4千152万円の内、田上町分は、2億9千255万1千円となっております。

歳出では、消防費が前年比8千111万3千円増となっておりますが、これは退職予定者を3名見込んだものです。

また、公債費が10万2千円減となったのは、地方債償還が1件（消防施設整備事業債）終了したことによるものです。

※原案可決

組合議員

小野澤健吉
関根 一義
渡邊 正策
中野 和美



三条地域水道用水供給企業団

《第1回定例会》

期日 平成22年3月2日

場所 三条地域企業団事務所

○平成22年度予算を議決しました。

区分	予定水量m		年間給水料金 (税込み)(円)	
	1日平均水量	年間水量		
田上町	基本料金 81円/m ³	1,375	501,875	42,684,468
	使用料金 15円/m ³	2,300	839,500	13,222,125
	合計			55,906,593
三条市・加茂市・田上町 合計		10,621,500		1,111,623,000

組合議員

吉田 昭一
坪谷 久雄
池井 豊

町村議会広報研修会

期日 平成22年5月28日

場所 新潟県自治会館

○広報対策特別委員は、新潟県町村議会議長会が主催する研修会に出席しました。
レイアウトや写真の構成など、とても参考となりました。

◀新潟日報
橋本氏(講師)



中央文化社
大塚氏(講師)

◀出席議員



▶事例発表
(阿賀町)



議員の活動あれこれ

平成22年度の田上町消防団定期演習について紹介致します。演習は5月16日(日)午前8時、各指揮者の合図により、自動車分団はじめ第1分団から第11分団の全12分団の消防車がサイレンと共に、次々と田上町運動広場に集合し、午前8時10分調整池より取水、1線二口放水で一斉放水が開始され訓練が始まりました。(表紙参照)

開会は団旗が掲げられ、団長の出勤人員報告と演習開始宣言により、通常点検・分団毎での小型ポンプ操法・水防訓練では集中豪雨で加茂川が増水し、住宅に被害の恐れあり直ちに出勤し「土のう積を実施せよ」との指示で第11分団が訓練。その他、中店地区住民参加で初期消火訓練、田上・羽生田・加茂・下条・石川小学校の少年消防クラブ38名によるBFC鼓笛演奏、赤十字奉仕団による炊き出し訓練など、機敏且つ規律正しい演習が行われました。

田上町の地域防災活動に積極参画して頂いている団員に敬意を表します。
(H22年演習DVD:田上町総務課にあり)



お知らせ

皆さんも議会を傍聴してみませんか。
9月定例議会は、
9月13日からの予定です。

写真はありませんが、他にも傍聴にお越しの方々がいらっしゃいました。

▶7/1
上野地区の方々



▶7/2
羽生田地区の方々



7月1日・2日の本会議開催日に多くの方が熱心に傍聴されました。

傍聴席紹介

編集後記

夏本番です。今年の春が低温だったせいで、暑さが強く感じられるように思います。

幼稚園建設調査特別委員会を設置、3年余の時間をかけた竹の友幼稚園が完成し、4月から開園しましたが、行政と議会がかなり努力をしましたので、何かほっとした気分が漂っていました。

6月議会は、いつもより傍聴された方が多く、大きな励ましをいただきました。有難うございました。

今後とも田上の発展のために、力を尽くす所存です。宜しくお願いたします。

(川口 記)

- 委員長 渡邊 正策
- 副委員長 中野 和美
- 委員 塚野 二三
- 委員 齋藤 勲
- 委員 泉田 壽一
- 委員 川口與志郎